

銚子の魅力を
発信するちょ!



のーい♡銚子

第39回

及川喜治さんの巻 銚子の夜は面白い。バーめぐり楽しんで

「ちょーぴーに似ている」と噂のマスターと念願のご対面だちょ。

入口には店名を掲げた小さな飾り窓だけ。初めてだと通り過ぎてしましそうなさりげない外観。店内に入ると天然無垢の一枚板の長いカウンターをダウンライトが照らし、ずらりと壁一面の棚にはボトルが並ぶ異空間が現れる。「日常と少し違う隠れ家的な雰囲気とお客様が肩の力を抜いて気軽に足を運んでもらえるバーを目指しています」

低い静かな声でにこやかに話すのはバー「オールド」のマスター及川喜治さん(44)。オールドでは400種類以上のお酒を取り揃えお客様の好みに合ったカクテルやウイスキーを提供している。

特に自身も好きだというウイスキーには力を入れ、8年前から取り組んでいるオリジナルラベルのウイスキーは神栖市のバーと共同でスコットランドの蒸留所から樽ごと買い付け、銚子と神栖の風景を描いたラベルを作りポトリングしている。

「震災復興や地域活性化を目的に千葉と茨城の地方のバーから発信できることの一つとして考えました」ウイスキーのイベントや蒸留所にも足を運び、ウイスキーの本場スコットランドを訪れた際には25か所以上の蒸留所をめぐったほどだ。旭市出身。20歳のころバーでのアルバイトをきっかけにお酒の魅力にはまった。お酒を覚えようと

酒屋でも働き、22歳のとき本格的に勉強しようと上京。銀座のバーで修行を積んだ。その後帰郷し、銚子のバー「ダニーデイン」で5年働いた。

「バーテンダーって漫画やドラマの世界みたいな格好つけた偉そうなものではないです。主役はお客様。でもカウンターの内側って舞台、ステージなんです。そのステージに立つだけで少し目置かれる。そうすると普段だったら話せないような方とも会話できるのがこの職業の魅力の一つですね。お客様から違う業界や職業のこと、知識や教養を学んで成長させてもらえます」

32歳で独立しオールドを開店。「銚子は漁師文化の影響からお酒を楽しむ文化がもともと根付いている。近郊の市町村に比べてバーの軒数も多い。銚子バーめぐりの夜なんてのも面白いと思います」

季節のフレッシュフルーツのカクテルも大人気。2月はイチゴを使ったカクテルがおすすめたちょ



▲似てると言われて以来、ちょーぴー好きな及川さん。メニューや店内にもちょーぴーが隠れているので探してみては。



▲オリジナルラベルのウイスキー。ラベルは銚子在住の矢野光伸さんが描いたもの

BAR OLD
末広町1-7☎(25)1156 18時30分～深夜
定休日 日曜日、月曜祝日の場合
日曜営業、月曜休み

わんぱく登場



こうたろう
白土 公太郎ちゃん
ありさ H28年6月生まれ
白土 有里紗ちゃん
H29年12月生まれ



ゆうま
小坪 優真ちゃん
H25年2月生まれ



ななみ
三浦 奈々海ちゃん
たくみ H27年7月生まれ
三浦 匠海ちゃん
H29年12月生まれ



あやな
加瀬 絢菜ちゃん
H30年7月生まれ

住所、氏名、連絡先、お子さんの名前(ふりがな)、生年月日を記入し、写真を郵送またはメールで送付ください。窓口でも受け付けます。
☎ 秘書広報課 ☎(24) 8823 (郵送)〒288-8601若宮町1-1 (メール)koho@city.choshi.lg.jp



写真
大募集!

広報ちようし 平成31年2月号第1205号 平成31年2月1日発行
〒288-8601 銚子市若宮町1-1 ☎0479 (24) 8181 (代表) <http://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちようしは、読みやすくわかりやすいデザインのため、JUD(ユニバーサルデザイン)を使用しています。